

案

神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会発足記念事業

砂防講演会 2015 in 高山

～気候変動に適応した防災・減災のあり方～

1、目的

平成 26 年 12 月に飛騨地域（神通川・庄川上流域）において大規模土砂災害が発生した場合に住民の生命、身体等の保護及び国土の保全に必要な防災・減災活動等を実施する組織で構成する神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会が発足した。

当協議会では、防災・減災に資する関係機関の連携を促進し、防災情報の共有や防災訓練の実施、防災意識の向上に関する活動などを行うこととしている。

本講演会は、平成 25 年の伊豆大島や平成 26 年の広島市で発生した土砂災害をはじめ、近年、全国的に多発している土砂災害の実態を踏まえ、甚大化する自然災害に対し、今後の防災・減災のあり方について、地域防災を担当する関係機関の連携のあり方や地域住民の防災意識の向上を目的に開催するものである。

2、主催 神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会
(国土交通省、林野庁、岐阜県、高山市、飛騨市、白川村)

3、後援 高山建設業協会、吉城建設業協会

4、開催日 平成 28 年 1 月 14 日 (木) 15:00～17:00 (予定)

5、開催場所 高山市役所 地下 1F 会議室

6、プログラム (案)

(1)気候変動に適応した土砂災害対策について (仮)

京都大学 防災研究所 教授 ふじた まさはる 藤田 正治 様

(2)大規模土砂災害対応の実際について (仮)

国土交通省 砂防部

(3)平成 26 年長野県北部地震における対応と課題について (仮)

長野県 小谷村村長 まつもと ひさし 松本 久志 様

7、参加規模 100 人程度 (行政職員 (防災担当者) を対象として)